

1 公道実証実験期間

令和8年1月26日（月）から同年2月9日（月）10:00～17:00
〔午前3便、午後5便〕

2 公道実証実験路線

南さつま市役所から県立南薩病院や商業施設等を経由して南さつま市役所へ戻る、約4.5kmの周回する路線（別紙のとおり）。

3 使用車両

フランス・NAVYA（ナヴィヤ）社製 EVO3（エヴォスリー）



○運転席・ハンドル・ブレーキペダル等がなく、コントローラーにより操作する特別装置自動車
○乗車人員：最大12人
○最高速度：18km/h



コントローラー

4 実証実験の主な内容

自動運転走行（交差点の右折時や非常時は乗車する監視者の手動運転）に加えて、車両と信号機の連携実験。

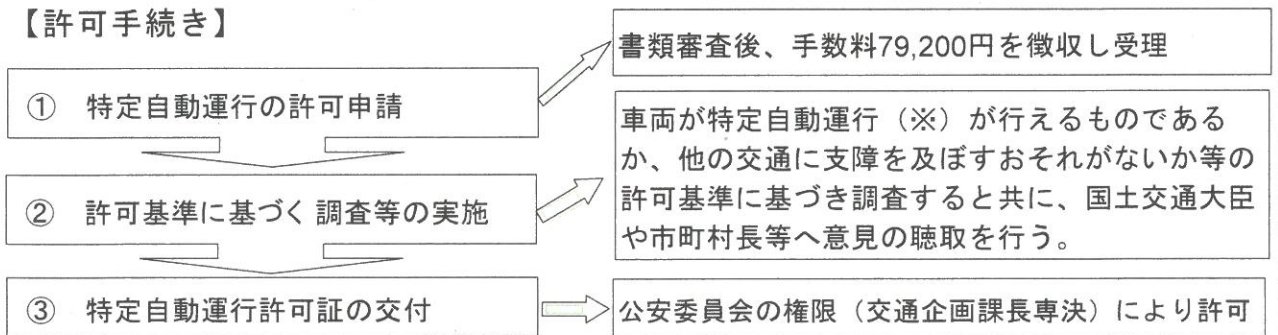
5 実験結果

- (1) 事故及びヒヤリハット～無（前年はヒヤリハット2件のみ）
- (2) 実証実験中の車両及びシステムのトラブル～無
- (3) 実証実験中の利用者～456人（前年は396人で、前年比プラス60人）
1日平均30.4人（前年は28.2人で、前年比プラス2.2人）
- (4) 車両と信号機の連携実験における信号誤認識～無

6 令和8年度の手続き

昨年12月に国土交通省から、「2027年度までにレベル4実装（全区間）を実現する計画を策定・公表をすること」と方針が示されていることから、今回と同路線での全区間レベル4の実証実験後、特定自動運行（※）の許可申請を予定。

【許可手続き】



（※）「特定自動運行」とは、レベル4に相当する車両を特定条件下で完全自動運行すること。

